

環境配慮型泡消火剤の開発

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



15 陸の豊かさも
守ろう



これまでの泡消火剤は、鎮火後に泡が長時間消えないことや、その薬剤が流れ着く川や海、そして水田への環境汚染が問題視されました。そこで、国際環境工学部の上江洲教授らの研究グループにより合成界面活性剤を使用せず動植物への影響が少ない泡消火剤が開発されました。泡消火剤は、環境面への配慮だけでなく、消防車のコンパクト化や、放水時の負担減による人員の削減、集合住宅の消火作業時に下の階が水浸しにならない等、様々な面でメリットは多く、この泡消火剤を採用する自治体の数も増えています。



専用消防車
MORITA
株式会社モリタホールディングス
(ミラクルキャブス)



石けん系泡消火剤
(ミラクルフォーム)



これまでの研究成果(2003-2007) 「一般建物用石けん系泡消火剤の開発」



- 優れた消火性能
可燃物に付着、冷却、浸透(消火が早く、再燃しにくい)
- 優れた消泡性能
放射後は速やかに消泡(隙間に侵入、消防活動が容易)
- 優れた環境特性(環境保全型)と作業安全性
天然油脂石けんが主成分の原液を希釈して使用

詳しくはこちらへ

<http://kitaqsdgs.jp/2018/10/18/post-99/>

<http://www.env.kitakyu-u.ac.jp/ja/shoubou/kffs.html>